

市民ワークショップでのご意見

1. ホールを探検しよう！

初めて舞台裏を見る人も多かったようです。舞台の広さについて、舞台だけではなく舞台袖についても広くしてほしいという意見が多く挙がりました。

今のホールは楽屋が下の階にあるため、舞台までの移動が大変！楽屋から舞台までが安全で楽に行き来できるようにしてほしいという意見が多く挙がりました。

舞台設備については、照明バトン・美術バトンを手作業で動かしていることに驚きの声も挙がりました。その他、様々な公演が行える設備の充実を希望する意見をいただきました。

<b>舞台について</b>
・ 小さい頃から使っている文化センターなので、これが普通の舞台の大きさだと思っていましたが、やはり実際に大人になってここに立つてみると狭いなあと感じました。サイドの部分も狭いし、舞台上上がってくるところ、通路、階段も狭いです。すれ違えないのが危ないなあ。
・ バレエや劇団四季など、かなり立派な舞台セットが必要になるので、舞台が広くなり裏方スペースがしっかり充実することは、公演の幅が広がるとともに楽しみです。
・ 初めて裏を見せてもらいました。古い印象を受け、結構色々なものがむき出しの状態なので驚きました。
・ 思った以上に狭い。(特に両袖)
・ 今の舞台は結構狭い。
・ 舞台袖は広ければ広いほど良いと思う。
・ 舞台の袖が思ったより狭いのに驚きました。作業する人は不自由だったと思います。高校の吹奏楽部の発表のときは、指揮者の先生が前に立つのが危ないほどだったので、舞台の奥行は十分に欲しいと思いました。
・ 現在の舞台裏が狭いのと、未完成のようなのと、初めて実感しました。
・ 舞台の袖が狭いのに驚きました。
・ 舞台袖、もう少し広いと小道具とか次の幕に必要な背景やはりぼてを置きやすくして良い。出演者も多めに待たせられるし。
・ 両袖広く取ってください。
・ 現在の舞台では狭すぎる。
・ 現文化センターは演劇用に作られていなくて、後日舞台を増築したものです。そのため、緞帳の外に舞台があるという不思議さ！

・ 古い設備が新しくなると思うとワクワクします。舞台の上にはいろいろなものがあり、危ないし、狭い。物を大事にしてほしい。黒い布が破れたまま。
・ いつも演奏するばかりでしたので、照明や、下手の方に設置している様子が勉強になりました。音響はいつも気になっていたんで、大先生がいらしてお話を聞いたので楽しみです。
・ 能舞台とは言わないが、鏡の松が降りくる装置、また舞台板が自動で出てくる仕組みにできないか？能舞台は角柱、シテ柱、橋掛かりがある舞台が出来るとよい！舞台は足袋で舞うため、板は大切です。

<b>動線、部屋について</b>
・ 昔バイトで裏方を、舞台をちょろちょろしていたのを思い出します。落ちそうな控室への階段、力強い綱本…無くなるんですね。
・ もっとゆったり舞台へ出る前に呼吸を整えることのできる場所がほしい。近くにトイレも欲しい。杖を置ける座席も一部あればよい。車椅子の入れ場所もほしい。
・ 舞台の裏動線はかなり必要だと思います。倉庫にもスペースが必要だと思います。
・ 客席の椅子も音響に良いものを。階段、歩きやすい通路、倉庫の充実。
・ 急な階段は危ないし狭すぎると衣装によっては敵しそう。足元がヒールなどの人は危ない。足腰が弱い人対応で手摺もあると良いかも。
・ 椅子もゆとりでお願いします。同じ階に控え席。
・ 出演者が舞台上ってくるのに階段が急で大変。
・ 昔、高齢の俳優は狭い階段を上がれず、荷物エレベーターを使いました。

<b>その他感想</b>
・ 今まで何十回も、もっと見ている・立っているのが今更……でした。
・ 探検し足りませんが、一番なじみのあるこのホールの舞台を体感することはとても重要だと考えます。演じる側だとう感じるのか、たくさん聞いてみたいです。お世話になったこの文化センターも次のホールも、大切に使用していただける場所にしていけたらと思います。
・ やっぱ舞台は良いな～。妄想が止まりません。色々な舞台が見たいし、ダンスの発表会で使うのに、どうしたら踊っている人が楽しく、見ている人が楽しくなるホールになるか。なったらいいな！！
・ 地元の学生たちに舞台を積極的に利用してもらえるような機会を提供し、ホールに対する愛着を持ってもらいたい。



四万十市文化複合施設基本設計 市民ワークショップかわら版

Shimanto Tsukuru Tsuzuru vol.2



第2回ワークショップ「考える」

令和元年10月17日に、四万十市文化複合施設第2回基本設計ワークショップを開催しました。第2回となる今回はなんと、前回は上回る35名の方にご参加いただきました！

今回のテーマは、「空間の使い方」を「考える」〜ホールの空間を体験し、いろいろな使い方を考えよう〜。文化センターの舞台上、ホールを探検して、体験して、測って、演じて…!? 4本立ての盛りだくさんなワークショップでした！

まずは舞台を探検！初めて舞台に立つ人も、普段からホールの設備を間近に見ることで、今の文化センターの現状について理解を深めていただきました。



次は、空間を体験！2mの廊下って狭い？広い？、4m x 8mの部屋ってどのくらい広い？、ホワイエに一緒に観客が集まったらどんな密度になるの？LEDテープやロープ、さらにVRゴーグルを使って、新しい施設にできる空間の広さをづくり、実際にその中に入っただけを体験しながら、空間ごとに思い思いの使い方を考えていただきました。

3つ目はホールを測測！たとえば客席の椅子の寸法を測ってみると、私たちの肩幅ほどしかなく、参加された皆さんからも「新しい施設は、もっとゆとり」とした座席が良い！という声が多く挙がっていました。

最後は、演じてみよう！数名の方に協力いただき、朗読+合唱の実演をしました。即興でお願いしたにも関わらず、気持ちのこもった素晴らしいパフォーマンスになり、客席で見守っていた皆さんからも温かい拍手をいただきました。

基本設計ワークショップは次回が最終回。『四万十オリジナルを「創る」と題し、今までのワークショップを踏まえながら、四万十らしいホールを皆さんで創っていくワークショップを企画中です！果たして四万十らしいホールとはどのようなものなのか、皆さんも文化複合施設をいっしょに創ってみませんか？

なんでもアンケートでのご意見(一部抜粋)

会議室で行うワークショップより、ホールの広々とした中でやるだけで解放感があり、いつもと違う場所というのが話もしやすかった。	複合施設の設計について図面だけでなく体感できて、具体的なイメージがわかりました。	ホールをサイズで考えたことがなかったのでへえ〇mだったんだ…と興味深くお聞きしました。	映像や光で広さを体感出来たのは良かった。
今後50~60年、幅多をリードするホールを！	多用途もよいですが、使用する目的がはっきりしている組織も大切にしたいと思っています。	四万十市にしかないホールができることをたのしみにしています。	四万十市は自然が豊かで住みやすい街だと思っていますが、雨天時には遊びに行くところがありません。活気のある施設になるよう願っています。

▼VR体験で使われたイメージ画像(左・中：1階エントランスホール、右：2階共用ロビー)



### 3. 測ってみよう！

#### 椅子の寸法について

- ・椅子の測定も狭くて驚きました。確かに先日の中学の文化祭・合唱大会の時も、隣同士でひじ掛けを譲りあわないといけないで気が使った。そんなことを気にせず舞台を楽しみたいなあ。
- ・椅子と椅子の間が、人が1人やっと通れるスペースしかないのには意味はあるのか？真ん中の椅子に座った時で、トイレに行きたいときなど行きにくい。でも映画館などもそんなに広くない。
- ・寸法で言われても広い狭いかは分からないけれど、使いやすいものであれば良いと思う。客席数より、快適さを重視してほしい。(個人的に…)
- ・現ホールの席はがっしりした人には厳しい。席数との兼ね合いもあるか……
- ・座席の幅は狭いとは感じていたが、45cmと聞くとやはり肩幅くらいなので、隣の人と当たってしまったらして気を遣う幅だと思った。座面ももう少し高いと座りやすいかなと。全体的にコンパクトな作り。ゆったりとした空間で、舞台を楽しんだりしたいので、収容人数を確保するというよりは、個人個人の満足感を得られるような空間づくりをお願いします！
- ・席数は少なくとも、味のあるホールにしてほしい。
- ・椅子のサイズが分からない。椅子自体の厚みなどは、今の方が薄いと思っていたが、厚くなっていて、空間を無駄にするなあ。
- ・椅子については、極力前後左右のスペースを広くしてほしい。1,000席という声もあるが、狭くて人が多いと楽しめないのではないかな。
- ・椅子が広がる、千鳥配置になる、奥行もひろくなるとストレスなくみる事ができて楽しみ。
- ・通路にしても椅子にしても舞台横の広さ、楽屋などゆとりある空間・広さにしてもらいたい。
- ・座席が狭い、横幅も前後幅も。広くなるといいなと思います。大きなステージ、舞台、コンサートを見たいので、四万十市を代表する有名な大きい施設になってほしい。
- ・前の席の人に邪魔されず見える席で、ゆったりと座れる広さが良い。今までの席は硬くて狭く、長時間はきつかった。
- ・客席の椅子は首をかしげなくても舞台が見えるようにしてください。お客様が段差で転んで骨折したことがあります。お年寄りが多いですから…
- ・椅子は少し小さいとは思っていました。文化センターができたときの日本人の身長体重と、2019年の身体のサイズが違うので仕方ないことだと……新ホールは、今の身体のサイズに合わせて、またお年寄りの腰にやさしいようにクッション性も良くしてほしい。
- ・客席1個の大きさ、実測して頂いて良く分かって、大きくして頂けるようでした。座り心地の良い椅子にしてほしい。

椅子のサイズを実際に測ってみて、現施設の座席は狭いという意見が多く挙がりました。ゆったりとした座席幅、前後間隔で快適な座席としてほしい！という意見を多くいただきました。



#### その他感想など

- ・同じく何mとか聞くより、今の設備と比べてということの方が分かりやすかったです。広さというのは、使う方によって感じ方が違うと思います。それでもこの街での使われ方はもうすでに決まっていると思うので、やはり分相応ということを望みます。
- ・自分で測ってみたかったです。具体的に数字が出るととても分かりやすい、考える軸になりますね！楽しかったです。
- ・例えば小ホールなどを借りるためにはお金を支払うんじゃないかと思うのですが、交流ロビーなどを使うためにはお金とかは掛かりますか？だとすれば、そこを使っているとき、高校生とかが寄って使うことができるでしょうか？話していて怒られたりしないでしょうか？
- ・駐車場はどうなっているのでしょうか。十分な台数が置けるように。各部門でいろいろ持ち物があると思います。もちろん規制もいると思いますが、大きなロッカーがほしい。(物品倉庫)
- ・図面を見たいです。(詳しいもの)
- ・実際にライトを当てていただき、違いが分かりやすかったです。舞台裏が狭い。和室の広さ。少子高齢化になり、大ホールが日ごろ使われなく、大きいのはどうかな？
- ・能舞台や奈落など、難しいかもしれないが舞台装置を導入してもらえたらありがたい。
- ・高い天井、低い天井、上手くやっていただけると思います。

#### 体験した感想など

- ・スポットが当たって、雰囲気も出て良かったです。朗読も素敵でした。なんだか、この味のあるホールが無くなるのが寂しくなりました。
- ・即興ステージ、良かったです。照明で雰囲気が変わりますね。短い時間でしたが、観客としてステージ楽しませて頂きました。
- ・印のある者以外の意見も聞くと言いつつ無視。
- ・ギターの方の歌を聞きたかった。弾き語りピューピュー。
- ・THE ALFEEの星空のディスタンスでなかったのはちょっと残念だった。
- ・演目が朗読と歌のコラボなので雰囲気は良いが、どこを見ればよいのか謎。
- ・最後のギターバンドの歌が語りとメロディーでやっていただけて良かったです！ギター良い音でした。

### 4. 演じてみよう！

語りと歌とが組み合わさった、ミュージカルのような素敵な舞台！ステージに立った方も、観ていた方も、ワクワクした時間となりました。



今後の基本設計ワークショップ日程：第3回ワークショップ 四万十オリジナルを「創る」11月21日(木) 18:30～20:30

お問合せ先：0080-34-1501 ☎ 787-0012 四万十市右山五月町8-22 市立中央公民館1階 四万十市企画広報課文化複合施設整備推進室

## 2. 空間を体験しよう！

#### 2mの廊下

- ・2mの廊下が意外と狭かった。ホワイエの6mくらいの幅があれば、端に椅子を置いたり机を置いたり展示物を置いたりしても余裕があって空間として楽しめる気がしました。実際壁があるとやっぱり圧迫感があるのかなあ。
- ・2mの幅は、歩行していても十分な幅だと思いました。小ホールは、色々なことに活用できる空間だと思いました。
- ・幅2mで壁に囲まれていると狭く感じた。広く見えるような工夫が必要かも。
- ・枠の中に入って見て、初めて色んなシーンが浮かびます。2mの廊下は(壁がありませんでしたが)私には狭く感じられました！VRで見る景色は、明るく開けている感じで良かったです。
- ・2mは狭い。
- ・楽屋も使いやすく、廊下は広く歩きやすく。
- ・2m幅は狭い。
- ・2mは基本通路。車椅子とも一応すれ違えるな。
- ・実際は分かりませんが、ピンとこないけど、2mの間隔は狭く思いました。何回もワークショップしてくれているので、あとは専門家をお願いします。
- ・2mの通路では、車椅子を自分でこぐ人だとすれ違えない。

#### 6m×4mの空間

- ・今回の体験した幅に、天井や壁があると少し狭く感じる。アルコーブの空間に学習コーナー。地元高校生などが日々市役所図書館を利用している。ラウンジでくつろぎスペース。人と人との交流。キッズコーナーの充実、better
- ・壁・天井がなかったら、ピンとこなかった。今回は広く感じたいけれど、実際はどうだろうか。キッズスペースなどであれば、ふつうのスペースより広い方がうれしい。
- ・6m幅は少人数のお教室に良さそうでした。
- ・6m幅は座って行う勉強会などには十分な広さだと思いますが、体を動かしたりするには狭いと思いました。子供が楽しく過ごせるスペースが欲しい。「大体この広さ」で終わらせず、可能な限り広く楽しいスペースを作してほしいです。
- ・キッズスペース等の広さは良いのではないかと思います。
- ・6m、2mを体験して、狭いと思った。

#### 舞台の大きさ

- ・新しい舞台が、現ホールの縦横の大きさと同じくらいというのはすごく広く感じたが、席から見えない部分もあると思うので、いまいまいわからない。
- ・今までは演劇の大道具を置くのに苦労していたので、広がるのはありがたいです。
- ・今度出来る新しい舞台は、ほぼこのホール全体の長さが横の幅になることなど、測ってみて分かりやすかったです。そんなに広い舞台ならいいなあどわくわくしました。
- ・ロープで舞台サイズを提示して頂いたときは、その大きさが分かって、とてもわくわくしました。
- ・2m,6m,30mの目印が実際に立ってみると思った以上に広く感じました。メジャーで直線だけを測ると、立体的なものとは違うなあ。
- ・舞台の広さを測って説明してもらい、広さに驚きました。図面で見ると違って分かりやすかったです。
- ・30m×14.5mの広さ、すごく広く感じた。
- ・舞台広さ、十分に広く感じたが何を基準としているのか？都市部や四国他県のホール舞台と比べてどの規模であるのか？こじかない特徴ある舞台構造を目指してほしい。
- ・新ホールの舞台はすごく広いということはおそらくわかった。
- ・舞台の奥が広がるのが楽しみ。
- ・ステージの広さは白い紐で体験できたので良かったが、それが四万十市のホールの広さに適度なかがわからない。
- ・舞台の横幅が30mになるのは結構だと思います。
- ・舞台が広いので良いと思いました。
- ・新しいステージは広い。

2mの廊下は十分な幅という意見の他、車椅子でのすれ違いを考えると狭い？という意見も。6×4mの部屋は教室には適度、体を動かすには狭いという意見が挙がりました。

舞台の広さは現文化センターの客席とほぼ同じ！現施設よりも格段に広がる新しいホールの舞台に対しては、期待する声が多く挙がりました。

#### ホワイエの密度

- ・1,000席になった場合の密度(ホワイエ)は、少し狭いと思うが、一度に全員が溜まることは無いと思うので、そこをあまり広く取らなくても良いと思う。
- ・ホワイエは密度が高くなることもあるよう。

#### その他感想

- ・実際に区切った空間を何人かで通行したり、密度を体験することはとても新鮮だった。VRの壁の映像より、ひも状ライトは視線が抜けるため広く感じた。
- ・身体を動かして感覚をつかむと、ただ目で見るとより分かりやすかったです。
- ・他のホールのホワイエの寸法があるとイメージしやすいかも。県民文化ホール、土佐清水、宿毛等の実際に行ったことがある施設。
- ・バーチャル、すごく分かりやすかった。
- ・和室がさみしい。狭い。床の間、水屋は必須。
- ・書類上の面積よりもより体感できたと思います。催しによって大人だけではなく、大人と子供や高齢の方となると、車椅子やベビーカーの方がいるとまた違ってきますよね。体験良かったです。
- ・ホール階段の縁が、暗転時にもわかるくらいのLED照明があればよい。公民館で行っている市展に小ホールを使う。
- ・せっかくVRを使うなら、もう少し新ホールの様子が伝わるものにしてもらいたかった。
- ・LEDのコードに触れた。人数で測るのはすごい。
- ・空間は実際に体験できてよかったのかな。
- ・元の広さがないので仕方ないのかもしれないけれど、大体サイズが小さいと思ってしまいました。この場所に詰め込みすぎかな？欲張りすぎでは？高校生が寄るといっては本来図書館で担う役割だと思う。多目的というのはどれも中途半端になってしまうのではないですか？
- ・四万十市は小京都ともいわれる街です。茶会は幡多郡、高知市からも来て私たちが年に1回します。もちろん専用でなくても、茶会に使える部屋がほしい。釘は後で打つことができません。ぜひ専門の人にみてもらい、最低限守ってほしいことがあります。
- ・音響の方のお話、次の建て替え時に「潰すのが悲しい」と思えるホールになるように、何が出来るだろう。高知を飛ばしてこっちにきてくれるような、大きなホールを作ってほしい。
- ・今のホールは、会場の後ろの席ほどいい音響の響きになるというのは驚きを受けた。新ホールは前も真ん中も後ろも右も左も、全てのお客様が等しく聞こえる建築構造にしたいと思います。
- ・和室は、今後人数が少なくなるといいますので、うまく皆さんが利用できるようお願いいたします。
- ・小規模のコンサートなどで、ホールを半分に区切って使うことはできませんか。
- ・防音性の高い部屋が欲しい。(会議室、音楽室、リハーサル室)ベンチや椅子が交流スペースに欲しい。四万十市産業市のような地元の良い物を買うイベントも開催してほしい。マルシェなら月1でしてほしい。日曜市なくなっただけでそこでも買えなかったものもあるし。
- ・廊下の広さ、倉庫の確保、搬入口の広さ、必要だと思います。
- ・多用途に使える空間は、良く考えられているとは思いますが、茶会が催せるような和室の空間ではないように思われた。床の間が必要、掛け軸、花を掛ける釘。畳も炬を切ってほしく、炬を切る位置も正式なものにしてほしい。和室自体狭いと思われる。水屋、倉庫(道具入れ)も欲しい。
- ・空間の広さを実際に体験することで、利用時の状況をイメージしやすかったです。同じ広さの空間でも、壁の向こうが見えるかどうかで感じ方が大きく異なると感じた。机、椅子、本棚のあるラウンジができて、学生等に日常的に利用してもらえ空間として定着してもらいたい。市内における高齢者率も高くなっており、施設の入口駐車場からホールへの動線上のバリアフリーの必要性が高いと感じた。
- ・体験できました。